



風情

You can feel the Edo Period atmosphere in neighborhoods of Kurazukuri Zone (Old Storehouse Zone)

Kurazukuri Zone (Old Storehouse Zone) is Kawagoe's biggest tourist attraction. Many impressive storehouse buildings line both sides of the street named Ichiban-gai. Storehouse-style architecture is fire-resistant, and the Osawa House, built during the Edo Period in 1792, escaped the great fire which took place in 1893. Because of this, other merchants also built warehouse-style stores, creating streets lined with clay-walled buildings.



大沢家住宅

川越を知る
100のこと

江戸情緒を豊かに残した蔵造りの町並み

時代の面影をたどりながら、小江戸のまちを歩いてみる。歩くたびに新しい発見があり、何度も訪れてみたくなる。水辺に目を向ければ、暮らしのすぐそばに桜色に染まる絶景が広がる。受け継がれてきた伝統の祭りに酔いしれる。川越芋と呼ばれる伝統品種・紅赤も、受け継がれてきた歴史文化も自慢したくなる、川越のステキなところ。

川越市には
ステキなところがある。



川越はアニメ聖地としても愛されています。

「訪れてみたい日本のアニメ聖地88」で、川越市は「月がきれい」「神様はじめました」の2作品で認定されました。

一般社団法人アニメツーリズム協会が主催する「訪れてみたい日本のアニメ聖地88」で、川越市は「月がきれい」「神様はじめました」の2作品で認定されました。

大正から昭和時代の薫り漂う大正浪漫通りなど、川越の風情ある町並みは、アニメの中でもよく描かれています。一般社団法人アニメツーリズム協会が主催する「訪れてみたい日本のアニメ聖地88」で、川越市は「月がきれい」「神様はじめました」の2作品で認定されました。

一番街や菓子屋横丁、時の鐘が建つ鐘つき通り、大正から昭和時代の薫り漂う大正浪漫通りなど、川越の風情ある町並みは、アニメの中でもよく描かれています。一般社団法人アニメツーリズム協会が主催する「訪れてみたい日本のアニメ聖地88」で、川越市は「月がきれい」「神様はじめました」の2作品で認定されました。

訪れてみたい日本のアニメ聖地・川越

日本のアニメ聖地・川越

川越のまちに時を告げています。

川越のまちに時を告げています。

川越のまちに時を告げています。

川越のまちに時を告げています。

川越のまちに時を告げています。

川越のまちに時を告げています。

川越のまちに時を告げています。

川越のまちに時を告げています。

川越のまちに時を告げています。

川越のまちに時を告げています。

川越のまちに時を告げています。

川越のまちに時を告げています。

川越のまちに時を告げています。

川越のまちに時を告げています。

川越のまちに時を告げています。

川越のまちに時を告げています。

川越のまちに時を告げています。

川越のまちに時を告げています。

川越のまちに時を告げています。

川越のまちに時を告げています。

川越のまちに時を告げています。

川越のまちに時を告げています。

川越のまちに時を告げています。

川越のまちに時を告げています。

川越のまちに時を告げています。

川越のまちに時を告げています。

川越のまちに時を告げています。

川越のまちに時を告げています。

川越のまちに時を告げています。

川越のまちに時を告げています。

川越のまちに時を告げています。

川越のまちに時を告げています。

[4] Toki-no-kane is Kawagoe's symbol

Toki-no-kane (Time Bell Tower) was built around 400 years ago to serve as Kawagoe's neighborhood clock tower. It was burnt down repeatedly in fires, but was rebuilt each time. Today's Time Bell Tower was built in 1894. It rings at 6 a.m., 12 noon, 3 p.m., and 6 p.m.

[5] Kawagoe is the setting for many anime

Kawagoe has many landscapes which are quite moving. They are often depicted in anime.



厚い土壁と豪壮な瓦屋根

蔵造りが軒を連ねる一番街。意匠を凝らした鬼瓦や影盛、重厚な観音扉など、装飾的にも美しい。それぞれ異なる蔵の姿がたちも楽しんでください。



8・18・28日は川越きものの日

「きものが似合うまち川越」を合言葉に、毎月8の付く日に着物客を誘致する活動を行っています。手軽に着物が楽しめることから、江戸の風情を残す町並みを着物姿で歩く観光客を多く見かけるようになりました。



[2] Thick clay walls and magnificent tiled roofs

The roof tiles and doors of storehouse-style architecture are extremely beautiful and well designed. Pay attention to the different shapes used for each building.

[3] Kawagoe is a city where it's suitable to wear a kimono

On the 8th, 18th, and 28th of each month, people wearing kimono can receive special services at many shops. In Kawagoe, you can easily enjoy wearing a kimono.



川越を知る
11
100のこと

日本聖公会 川越キリスト教会 礼拝堂

市内に残るゴシック様式のレンガ造りで、大正10年（1921）に建てられました。国の登録有形文化財に登録されています。



川越を知る
10
100のこと

ろまん 大正浪漫夢通り

明治・大正から昭和初期の風情を残す趣ある通り。土蔵造りやハイカラな洋風建築が軒を連ねます。



川越を知る
9
100のこと

川越商工会議所

昭和2年（1927）、武州銀行川越支店として建てられたもの。ギリシャ神殿風のドリス式の列柱が特徴の近代洋風建築で、重厚感あるたたずまいを見せています。国の登録有形文化財に登録されています。



川越を知る
8
100のこと

りそな コエドテラス （旧八十五銀行本店本館）

大正7年（1918）に改築された第八十五銀行本店本館。3階建てで塔屋があるルネサンス風の建物が蔵造りの町並みに存在感を醸し出しています。国の登録有形文化財に登録されています。



川越を知る
7
100のこと

旧山崎家別邸

大正14年（1925）に建てられた老舗菓子屋「亀屋」当主5代目山崎嘉七の隠居所。設計は近代住宅作家の先駆者の一人といわれている保岡勝也であり、2階建ての洋館と、数寄屋造りの平屋の和館が溶け合う和洋折衷住宅で、国の重要文化財に指定されています。また、庭園は国登録記念物（名勝）に登録されています。

Yamazaki House

This building was constructed in 1925. The owner of a long-established Kawagoe candy store built it in order to spend a leisurely retirement. It was designed by Katsuya Yasuoka, one of the famous architects of this era. This two-story building includes both Western and Japanese style elements. It is a nationally designated Cultural Property.



川越を知る
6
100のこと

昭和初期の面影残す 菓子屋横丁

石畳の道の両側に、素朴で昔懐かしい駄菓子屋などが並びます。明治初期に鈴木藤左衛門が養寿院の門前町で菓子製造を始めたのが菓子屋横丁の起源。最盛期の昭和初期には70軒以上の店が軒を連ねていたといわれています。どこか昔懐かしい雰囲気漂う菓子屋横丁は、人気スポットの一つで、環境省の「かおり風景100選」にも選ばれています。

In Kashiya Yokochi, you can feel the atmosphere of the old days

Kashiya Yokochi is an area lined with many nostalgic traditional candy stores. It originated when a candy store was built in front of a temple around 150 years ago. At this popular tourist attraction, you can smell the scent of Japanese traditional sweets.

川越を知る
12
100のこと

將軍の御成もあつた 川越城本丸御殿

川越城は、長祿元年（1457）に、上杉持朝の命により、家臣の太田道真・道灌親子が築いたといわれています。江戸時代には江戸の北の守りとして重要視され、代々幕府の重鎮が城主となってきました。17世紀前期ごろの制作とされる「江戸図屏風」に、三代將軍・徳川家光が川越に鷹狩の際に立ち寄った場面が描かれており、將軍が滞在する御成御殿であったことがわかります。

現存する本丸御殿は、嘉永元年（1848）に建てられ、当時、17万石を領していた川越藩の格式が感じられます。現在、本丸御殿の一部として、玄関・大広間・家老詰所が残っています。

川越を知る
13
100のこと

日本百名城の一つ 別名「初雁城」

毎年、初雁が城内の三芳野神社にあつた老杉の上で、決まって三声鳴きながら三度回り、南の空へ飛び去ったという言い伝えに由来します。また、城内には「霧吹きの井戸」があり、ふたを開くと霧が城を隠したという言い伝えから「霧隠城」と呼ばれることもあります。

川越を知る
14
100のこと

川越城が描かれた「江戸図屏風」

江戸時代前期ごろと考えられる江戸と近郊の景観を画題に、徳川家光の事跡が描かれています。（国立歴史民俗博物館蔵）

Kawagoe Castle is shown in the "Edo-zu Byobu" folding screen painting

The Edo-zu Byobu depicts the town of Edo and its surroundings in the early Edo Period. It includes a picture of the third shogun, Iemitsu Tokugawa, hunting with falcons in Kawagoe. (Collection of the National Museum of Japanese History)



川越を知る
17
100のこと

日本最大の上円下方墳「山王塚古墳」さんのうづか

今から1350年前ころの飛鳥時代の後半、南大塚古墳群（大東地区）に山王塚古墳が築造されました。

四角い台の上に半球状の盛土を乗せた「上円下方墳」は大変珍しく、発掘調査で確認された事例としては6例目です。上円部37m、下方部一辺69m、墳丘盛土の高さ5mの墳丘規模は、上円下方墳としては日本最大です。令和5年3月20日に国の史跡に指定されました。

Sanno-zuka Kofun

The Sanno-zuka Kofun, a uniquely shaped burial tomb with a hemispherical earthen mound atop a rectangular base, was constructed in the latter half of the 7th century. This burial mound holds the distinction of being the largest of its kind in Japan. It was designated as a National Historic Site in 2023.



川越を知る
18
100のこと

武士の台頭、河越氏繁栄 河越城が築城された中世

平安時代には各地に荘園が発達し、武士が台頭してきました。市内の上戸うわどに居館を構え、地盤を固めた河越氏かわごえは、鎌倉幕府の御家人として重用され、武蔵の有力武士として繁栄しました。河越氏の居館跡は、国指定史跡となり、現在は「国指定史跡河越館跡史跡公園」として整備されています。15世紀半ばに河越城が築かれると、川越の中心は現在の市役所周辺に移りました。やがて、戦国時代になると、城をめぐる扇谷上杉氏おうぎがやうさうすぎと北条氏ほうじょうによる攻防が激化しました。

The Samurai and Kawagoe Castle

In Japan, the samurai became powerful from the end of the Heian Period (12th century). Lord Kawagoe, an influential samurai, built his residence in the Uwado area of the city. The remains of Lord Kawagoe's residence are now a historic park. Later, around the middle of the 15th century, Kawagoe Castle was built near the current City Hall. In the Warring States Period (16th century), there were several battles over the castle.



川越を知る
15
100のこと

南東部付近まで 海だった縄文時代

今から6000年前の縄

文時代前期、川越は地域の南東部付近まで遠浅の海だったと考えられています。市内にはシジミなどの貝が出土した「小仙波貝塚跡」があり、貝、土器・石器のほかには竪穴住居跡も見つかっています。また、入間川の岸辺では、縄文時代後期の丸木舟が発見されています。

6,000 years ago, part of Kawagoe was under the sea

It is thought that the south-eastern outskirts of Kawagoe were covered by sea long ago. Shells have been found in the ground, and the traces of where people lived still remain. A wooden boat has been discovered by Irumagawa River as well.



小仙波貝塚跡



川越を知る
16
100のこと

3000年前の丸木舟

入間川の岸辺で発見されました。3000年前の縄文時代後期のもので、全長約5m、幅約0.5m。市立博物館に展示されています。

3,000-year-old wooden boat has been discovered

Dating back to the late Jomon Period, the boat is 5 meters long and 50 centimeters wide. It is on display at the Kawagoe City Museum.

川越氷川神社

古くから川越地方の総鎮守として、歴代の川越城主や城下の人々のあつい信仰を得た神社です。本殿には江戸彫りといわれる精巧な彫刻が施されています。

Kawagoe Hikawa Shrine

This shrine is the home of the guardian deity of the Kawagoe region. It was devoutly worshipped by generations of lords of Kawagoe Castle and the people of the surrounding town. An elaborate sculpture in the inner sanctuary is said to be an example of Edo-style carving.



中院

中世まで星野山無量寿寺の中心寺院として、関東天台の本山の地位にありました。境内には島崎藤村ゆかりの茶室・不染亭があります。

Nakain Temple

Until the Middle Ages, it prospered as the head temple of the Tendai sect in the Kanto region. Inside is a tea-ceremony room, "Fusentei," which is famous for its connections with the poet Toson Shimazaki.



三芳野神社

川越城の鎮守として本丸曲輪内に鎮座する神社。城内にあったため、一般の人は訪れることができず、年に2回外宮への参拝が許されました。

Miyoshino Shrine

This shrine was located in the center of Kawagoe Castle to house its guardian deity. Since it was inside the castle, ordinary people could not usually visit it, but they were allowed to worship there just twice a year.



仙波東照宮

喜多院の南側にある仙波東照宮は、家康の遺骸を日光へ運ぶ途中、喜多院で法要が営まれたことから、寛永10年（1633）に建立されました。同15年（1638）の大火で焼失し、2年後の同17年（1640）に現在の位置に東照宮が再建されました。

Semba Toshogu Shrine

Ieyasu Tokugawa, the first shogun, is enshrined at Semba Toshogu Shrine, built in 1633. It burned down in a great fire in 1638 but was rebuilt two years later, in 1640.

幕府からの庇護を受けた 喜多院

喜多院は、天長7年（830）、慈覚大師円仁が創建したと伝わる天台宗の刹です。寛永15年（1638）の川越大火で山門以外が焼失した後は、三代将軍家光が江戸城紅葉山から客殿、書院などを移築したと伝わっています。「家光誕生の間」「春日局化粧の間」があるのはそのためです。



Kitain Temple

Kitain Temple is a famous temple of the Tendai sect, built by Jikaku Daishi Ennin in 830. Everything except the main gate was burned down in a great fire in 1638. After this, the shogun, Iemitsu, relocated part of Edo Castle to rebuild the temple.



仙波河岸史跡公園



文化が花開いた近世 城下町として発展

東地方は徳川氏による支配が始まります。江戸時代、川越城には有力大名が配置され、その一人である松平信綱は、川越城下の町割（都市計画）を行いました。また、川越街道を整備するとともに、新河岸川を利用した舟運を開設。川岸に置かれた河岸場には、さまざまな品物を扱う船問屋ができ、川越は物資の動きとともに、江戸の文化がもたらされ、後に繁栄を極めました。

天正18年（1590）、徳川家康が江戸城に移り、

Development as a castle town

In the Edo Period, the shogunate posted powerful feudal lords to Kawagoe Castle. One of these lords, Nobutsuna Matsudaira, carried out the town planning of the area around Kawagoe Castle. He also improved the Kawagoe Kaido, the road connecting the city with Edo, and opened up transport by boat using Shingashigawa River. At the same time that supplies flowed in and out of Kawagoe by boat, the culture of Edo was brought in, and Kawagoe flourished greatly.



船問屋「伊勢安」(斎藤家)

370年の時代を越えて
受け継がれる「川越まつり」

川越まつりは、慶安元年（1648）、川越藩主松平信綱が川越氷川神社に神輿や獅子頭などを寄進し、神幸祭を奨励した川越氷川祭を礎に発展しました。その後、江戸天下祭（神田祭・山王祭）の風流・風俗を取り入れながら変遷を重ね、絢爛豪華な山車が曳き回されるようになりました。川越まつりは370年以上にわたって連綿と受け継がれています。

川越を知る
26
100のこと美しく、機能的な
山車がゆく

山車は、二重の銚（はこ）と伸縮自在の迫りあげ式構造が特徴です。銚の前には囃子台と呼ばれる舞台があり、多くの山車は台座の上で360度水平回転する回り舞台になっています。

[25] Kawagoe Festival, held for over 370 years

Kawagoe Festival is said to have started in 1648, when Nobutsuna Matsudaira, lord of the Kawagoe domain, encouraged the holding of a Kawagoe Hikawa Festival. Afterwards, strongly influenced by Edo Tenka Festival, gorgeous and decorative festival floats came to be pulled around the town.

[26] The festival floats are beautiful and functional

The top of a festival float has two layers, and that part of the float can be lifted up like an elevator. Many festival floats also have a stage for performers called "Hayashidai" which rotates 360 degrees horizontally.

川越を知る
27
100のこと未来に残したい
ユネスコ無形文化遺産

川越まつりの起源となった川越氷川神社祭礼に付随する山車行事が、平成17年（2005）「川越氷川祭の山車行事」として国の重要無形民俗文化財に指定されました。また、平成28年（2016）には「川越氷川祭の山車行事」を含む全国33件の「山・銚・屋台行事」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。

川越を知る
28
100のこと囃子の競演
圧巻の「曳っかわせ」

囃子は、江戸から伝わったもので、三つの流派に大別されています。山車どうしが出会うと、互いに向かい合い囃子を競演する「曳っかわせ」は、川越まつりの最大の見どころです。特に、夜の「曳っかわせ」は最高潮の盛り上がりを見せます。

[27] UNESCO Intangible Cultural Heritage to pass on to future generations

The float event accompanying the Kawagoe Hikawa Festival, which is the origin of Kawagoe Festival, was registered as a nationally designated Cultural Property in 2005. In 2016, it was registered as an item of UNESCO Intangible Cultural Heritage.

[28] Battle of the hayashi performance - Hikkawase, the highlight of the festival

Hayashi, the traditional music performed on the festival floats, has been handed down since the Edo Period. When two floats meet, they face each other and perform hayashi. This is called hikkawase. Hikkawase is the biggest highlight of Kawagoe Festival.

